

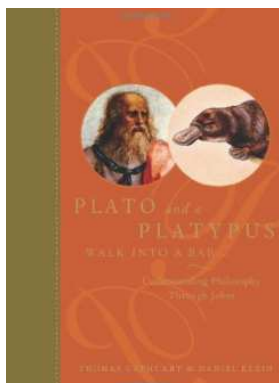
特別起稿

Plato and Platypus Walk into a Bar ...
— Understanding Philosophy
through Jokes —
Thomas Cathcart & Daniel Klein
Penguin Books
2008

国際言語文化学科
江澤恭子先生

哲学書と聞くと難しくて退屈で何より意味不明…とってしていませんか。私も偶然この本を手にするまではそうでした。アムステルダムで6時間もの乗り継ぎ時間を持って余し、ぶらりと立ち寄った本屋でこの珍しい表紙が目にとまったのです。

『プラトンとカモノハシがバーに入って…』というタイトルも気に入って読み始めると、哲学は哲学でもむしろ哲学をバカにしているかのようなジョークが続き、途中で飽きることもなく最後まで笑いながら読み終わりました。



一つジョークを紹介しましょう。例えば「本質主義」の説明では——

“Why is an elephant big, gray, and wrinkled?”

“Because if he was small, white, and round, he’d be an aspirin.”

確かに、大きくない象でも象であり、少々茶色っぽい象でも象であって、しわがなくても「しわのない象」ということになるわけですね。小さくて白くて丸い物を手にしている人に「それアスピリン？それとも変則的な象？」とは訊きませんから…。

どれもこれもこんな感じで、面白くなさそうな実存主義も堅苦しそうな倫理主義も何となく理解した気になれます。

英語ですが、頑張ってみてください。

質問受付中

<図書館なんでもFAQ>

とっくんが皆さんからの疑問や質問に答えるよ。

Q. 図書館に飲み物は持ち込めない!?

ペットボトルや珈琲などは持ち込み自由にしてもらえると嬉しいなあ～。

A. アルコール類を除いて飲み物の持ち込みはOKだよ。珈琲を片手に読書なんてカッコ良すぎ！カフェ気分どうぞ・・・。



★本のことやわからないことや、要望があったら、遠慮しないで図書館スタッフ（司書さん）に相談してね。

By とっくん

